平成 29 年 5 月 5 日発行　毎月 1 回 5 日発行　オイスカ通巻 645 号　昭和 42 年 12 月 27 日　第三種郵便物認可　別紙

公益財団法人 オイスカ FURUSATO！ 5 月号

～オイスカ四国のふるさとづくり～

竹の子フェス～学んで掘って食べてみよう～

OYL 主催

4月23日（日）にオイスカ・ヤング・リーダーズ（OYL）の２つ目の活動として、「竹の子フェス」を開催しました。竹林について学び、タケノコを掘り、おいしいタケノコ料理を食べるイベントです。当日は、大人25名子ども30名にご参加いただき、そこへ四国センターのスタッフと研修生、ＯＹＬメンバーなどが加わって、大賑わいの一日となりました。多くの人に参加いただいて本当に感謝しています。

イベントの始めに、ＯＹＬメンバーの三好東曜さんが竹について説明をしました。竹林に関する情報をわかりやすく面白く教えてくれ、子どもも大人も竹について理解することができました。それからいよいよタケノコ掘りです。皆掘るのが早く、いくつかタケノコに印をつけて準備していましたが、その数以上に竹林の中を探してたくさん掘ってくれました。参加者はほとんど家族で、掘るとき難しいところは親がして、少し簡単なところは子どもがやったり、子どもがタケノコを見つけて親に「こっちにタケノコあるよ」と親が「良く見つけたね」の会話も聞こえたり、この活動で親子のつながりの大切さがよく分かりました。そして親が自分の子どもに体験させたい気持ちは大事だと感じました。

昼ご飯は竹の節を使って長いお皿を作り、その中にセンターで作った料理をのせて皆で一緒に頂きました。煮たタケノコを使った揚げたての天ぷらやタケノコご飯、フィリピンの「ビナターアンバンブー」（ココナッツ味）、アジア風タケノコスープ、も出しました。ボランティアの人もタケノコをトッピングしたピザを作ってくれました。最後にはバンブーダンス・バンブーバンドを披露し、全員が一緒に踊って歌う、楽しいしめくくりとなりました。

今回はわたしがリーダーとして初めての活動でしたが、いろいろな人がサポートし、研修生も力を貸してくれて本当に感謝しています。ＯＹＬのメンバーも忙しい中、アイデアや力を出し合い、協力できました。皆さん次の活動ぜひご参加ください!!（ガディ）

バンブーダンスを体験！息を合わせて１、２、３！！

おなかもすいてたくさん食べました！
おいしー！！

オイスカヤングリーダーズ　メンバー募集中です！！

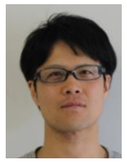
レンコン栽培に挑戦

研修センターの近辺でも最近の高齢化の流れで農家の耕作放棄地があちらこちらに点在しています。そんな中、このほど地元農業委員からの依頼もあり約６００㎡の土地を借りてレンコンの栽培を行うことになりました。レンコン栽培は農業委員から勧められたものの、これまで栽培経験がないセンターとしては不安もありました。しかし、幸いにもレンコン種を徳島県鳴門市のレンコン農家から無償でいただけることになり、また栽培技術については近所で栽培経験のある会員の新名寿雄氏からアドバイスを受けられるなど、条件が揃ったこともあり、思い切って挑戦することにしました。早速、１６５本のレンコン種を植え付けましたが、５月中旬頃には芽を出し夏頃には生長した茎から花が咲き、秋から来年の春先に掛けて収穫の予定です。何しろ初めてのレンコン栽培、研修生も今からその生長を見るのと共に秋からの収穫を楽しみにしています。（萬代）

スタッフ紹介

副所長：矢野　耕平

この度、副所長に就任いたしました。まだまだ勉強し足らないことが多いですが…地域や農業や研修生が繋がっていけるように行動を起こしていき、オイスカの新しい副所長の図を示していければと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。



研修課：中野　博之

4月17日より、四国研修センターの職員となりました。四国では２００８年～２００９年の１年間ボランティアスタッフとして生活させていただき、お世話になりました。職員としての勤務に、身の締まる思いと多少の不安と、またセンターで研修生と接することができるという多くの楽しみがあります。どんどん職員としての仕事を覚え、こなしていき、指導もできるよう頑張ります。皆様宜しくお願いします。

５月３日、４日

丸亀お城まつり

今年も恒例となった

エスニックカレー

を販売

ここでしか食べられないスパイスのきいたカレーをご賞味ください！！

５月のイベント予定

月日	曜日	イベント名	主催・協力	場所
2 日	火	綾川町立陶小学校交流	綾川町立陶小学校	四国研修センター
3・4 日	水・木	（丸亀お城まつり）丸亀城下町こだわり大物産展出店	中讃推進協議会	丸亀城前市民広場
12 日	金	四国電力総連チャリティボーリング	四国電力総連	太洋ボウル
19 日	金	支部常任幹事会 高松推進協議会総会	四国支部 高松推進協議会	オークラホテル高松
20 日	土	綾川推進協議会総会	綾川推進協議会	四国研修センター
29 日	月	中讃推進協議会総会	中讃推進協議会	オークラホテル丸亀

「FURUSATO！」５月号　発行
公益財団法人オイスカ四国研修センター
〒761-2103　香川県綾歌郡綾川町陶 5179-1
TEL　087-876-3333　FAX　087-876-3334
E-mail; oiscastc@oisca.org

OISCA × VALUE BOOKS
古本で！
「子供の森」計画サポートプロジェクト

フィリピン研修センター紹介

デン

オイスカヌエヴァエシア研修センターは1980年に始まりました。最初の所長は日本人の小笠原壮一先生（現在愛媛県支部幹事）です。8年後、所長はかわり、オイスカヌエヴァエシアは日本人からフィリピン人に任させていただきました。

ヌエヴァエシア研修センターの特徴は、日本で研修したＯＢがボランティアスタッフとして活動していることです。今はロメル（２０１５年四国センター地域開発研修生）ジェリミ、アルネルの３人がいます。ＯＢたちが研修生に日本で習ったことを教えています。

センター農業では田んぼと畑の管理のほかに、有機発酵肥料と液体肥料、ミミズを使ったたい肥も作っています。養豚もやっていて、今センターには豚が60頭います。また、お米は年に2回作ります。乾季はお米を１２０００kg収穫できますが、雨季のときは台風の被害が多く、お米の収量は４分の１ぐらいになってしまいます。今年になってからＯＢたちがヒヨコを２００羽入れて新しく養鶏プロジェクトをはじめました。これは研修生の勉強のためとセンターの収入を上げることが目的です。今センターの収入は少しでスタッフとして活動することも研修生をたくさん入れることも難しいです。今ロメルさんたちＯＢが頑張っていますから、わたしも日本でしっかり研修して帰りたいと思います。

メイ

オイスカパラワン研修センターは１９８３年に始まりました。場所は一番近い村から30分くらい離れていて買い物は大変ですが、静かできれいなところです。パラワンセンターも大きいセンターではありませんが、ＯＢＯＧが中心となって活動をしていて、マングローブ植林、養豚、養鶏に力を入れています。養豚ではさらに上の技術を学ぶため宮城県にある日向養豚で技能実習をしています。わたしが担当していたキッチンはセンターの卵や野菜を使っています。帰ったらキッチンをきれいにして、日本で勉強した料理をみんなに作って教えてあげたいです。

とてもおいしい野菜！大変ですが、きれいにできるともっと嬉しいです。

研修生とひよこの世話をするロメル（写真左）

夜桜を見る会

研修センターの敷地内にある桜の樹は、春の訪れと共に毎年満開となり、新しく入所する研修生を迎えてくれています。今年は例年になく肌寒い日が長引き、全国的に開花の時期が遅れましたがセンターの桜も奇麗に咲きました。この機会を利用して昨年から日頃お世話になっている近所の方々を招いて「夜桜を見る会」を開いています。今年は去る４月８日に行いました。当日は朝から小雨がぱらつく生憎の空模様でしたが、夕方には止み、それでも念のため桜の見える玄関前にテントを張りバーベキューで会を盛り上げました。ライトアップされた夜桜を見ながら、研修生らも片言の日本語で近所の人たちと会話を交わすなど、最後まで和気あいあいとした雰囲気のなかで楽しいひと時を過ごしました。（萬代）

わたしが考えるオイスカ四国研修センターの役割

広島県支部の葉名です。私は緑化関係の仕事をしながら、オイスカやビオトープなどの環境活動に携わり、週末農業にも力を入れています。

昨年の８月、フィリピン植林フォーラムに参加したことがきっかけで、広島県支部の恒例行事である四国と中部日本研修センターの広島研修懇親会にも同席させて頂きました。それを機に幾度か香川を訪れるようになり、交流を深めています。

四国研修センターでは、女性の生活改善に力を入れ、女性の社会進出を担っておられます。常々思うのですが、男性は女性がいない寂しくて何もできない生き物かもしれないと・・・。開発途上国における格差や貧困および効率を優先した大量生産等による環境破壊といった深刻な問題も、「女性力」で循環型社会の仕組みを構築し、自立して安心して暮らせる地域づくりができるのではないかと思っています。「どの企業で働きたいか」より、「どんな暮らしをしたいのか」が大切だと思います。

私にとってこの研修センターは、地域社会との交流も盛んで、身近に国際協力や国際親善に参加できる憩いの場であり、「暮らし方」を考え、「くらし力」を身に着けられる「学び舎」だと思っています。

広島研修懇親会にて
研修生との交流はやっぱり楽しいです！様々な思いを持った彼らから、たくさん刺激を受けています。みなさん、今年も待ってますよ～。

オイスカスタッフブログの「ぶらぶらはなちゃん探訪記 in 綾川町」にて、センターや地元・綾川町の魅力を紹介しています！
http://www.oisca.org/blog/?paged=13

ホームステイ日記

マレーシアのアリンです。日本へ来てから1か月になったとき、わたしたち新しい研修生6人は一人ずつホームステイへ行きました。

わたしのホームステイ先はお寺で、お父さんお母さんとお祈りをしました。日本語はわかりませんでしたが、心がとても静かになりました。その夜は、すきやきを一緒に作りました。とてもおいしかったのでまた食べたいです。次の日はお茶会をして、着物をきせてもらいました。袖が長い着物と短い着物を両方着て、袖が長い着物は結婚する前の女性が着ると教えてもらいました。午後はお母さんの友達と一緒にまんのう池など、いろいろなところへ行きました。とてもきれいな場所で、たくさん写真をとりました。

ホームステイの前はとても心配でした。お父さん、お母さんはどんな人ですか？わたしの日本語は大丈夫ですか？ホームステイのとき何をしたらいいですか？でも、お父さんお母さんたちはとても優しくて心配はすぐなくなりました。一緒にいろいろなことをしたり、話したりとても楽しかったです。もっともっと話せるように日本語の勉強をしたいです。ありがとうございました。また行きたいです！

ご飯を食べながらたくさん話しました。日本語が少し上手になりました！